

# 年間教授計画 2026年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間	単位数
作品研究 I	クラス: 1年J組 学科: クリエイター コース: イラストレータ	石橋	「棒人間」からはじめるキャラの描き方	4 時間/週	120 時間	4 単位

授業概要	主な使用ソフトとしてClipStudio(主にプラン描画)を使用してイラスト制作を学んでいきます。まずは基本の正確な描写を心がけ、応用では「場」「雰囲気」などの描写を行い、総合的には全体の構成を意識して、オリジナル作品制作につなげていきます。
最終到達目標	描く基本を身につけながら自己表現(オリジナル性)を追求します。制作のスピード感を意識しながら、限られた時間内でたくさんの作品を生み出していきます。

月	週	単元	内容および授業方法
前期 (4月～9月)	1	課題1 「○○」を描く	作品制作の基本1(実習) ・発想力の大切さ(この課題の最も大切なポイント) ・線画の作成方法を身につける(主にデジタル描画) ・データのサイズと解像度を理解する ・スキャニング作業(外部画像の取り込み方)を覚える
	2	「○○」については未定(毎年変 制作物(メイン作品のみ)	
	3	制作時間(12時間)	
	4	準課題・・・タブレット描画に慣 (タブレット=液タブ、ペンタブな	カラーモードの把握(講義) ・モノクロ2階調→グレースケール→RGB→CMYK
	5		
	6		
	7		色について理解を深める(講義→実習) ・色の三属性の理解(配色を換るために) ・配色のバランス(ベースカラー、アソートカラー、アクセントカラー) ・色の特性・・・進出色、後退色、暖色、寒色など
	8		
	9	課題2 人型キャラを正確に描く(3カット	
	10	(ポーズをつけて正面、側面、背 制作物(キャラクター3面図)	作品制作の基本2(実習) ・正確なプロポーション(教科書参考) ・「表情」の表現(教科書参考) ・自分の陰影描写の傾向を知る ・自分の配色の傾向を知る
	11	制作時間(12h)	
	12	準課題2・・・正確に出力作業が	
	13		・正確な出力→ポートフォリオ制作の意識
	14		
	15		
			提出(期限厳守)

後期 (10月～2月)	1	課題3 「キャラクター+空間」を描く	作品制作の応用1(実習) ・キャラクターと背景の組み合わせ1 (背景=場所、時代、装飾的空間・・・など) ・感情=顔の表情、身体ポーズによる表現 補足:この課題のアイデアスケッチは夏休みの宿題
	2	制作物(メイン作品、キャラの3	
	3	制作時間(15h)	
	4	準課題3・・・ポートフォリオ用の	・配色の意識(メインカラー70%、アソートカラー20%、アクセントカラー10%) ・作品内容の説明を文章で準備する(プレゼンテーションの意識)
	5		
	6		
	7		提出(期限厳守)
	8		
	9		
	10		作品制作の応用2(実習) ・キャラクターと背景の組み合わせ2 ・画面構成・・・構図づくりの基本1 ・画面構成・・・視線誘導の意識を持つ 補足:この課題のアイデアスケッチは夏休みの宿題
	11	課題4 「キャラクター+空間」を描く2	
	12	制作物(メイン作品、キャラの3	
	13	制作時間(15h)	・配色の意識(メインカラー70%、アソートカラー20%、アクセントカラー10%) ・作品内容の説明を文章で準備する(プレゼンテーションの意識)
	14	準課題4・・・全作品をポートフォリオ	
	15		
			提出(期限厳守)

成績 評価 方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他(ポートフォリオとプレゼンの内容)	
	割合	前期	0%	0%	80%	10%	10%	0%
		後期	0%	0%	60%	10%	10%	20%

備考 ※2 提出期限(=納品期限)を守ることはとても大切です。これについては全ての課題においてきびしく求めていきます。

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験/小テスト:単元ごとのテスト等/課題内容:課題提出および課題の出来具合  
その他:( )に具体的内容を記載。(例)外部実習評価  
※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。